

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 飯綱町 (都道府県: 長野県)
本事業の担当部局名 保健福祉課福祉係

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業			
区分	一般メニュー			
関連事業メニュー	1.1.2 結婚希望者の出会いの機会づくりを目的としたイベント・スキルアップセミナー			
個別事業名	飯綱町婚活パーティー運営事業	新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間	令和6年4月1日	～	令和7年3月31日	事業開始年度 平成 22 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	330,000			円
自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け ※(注)2	(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通			
	飯綱町では、第2次飯綱町総合計画において、本計画の目標年次である令和8年度の人口について、人口減少の克服、「10,000人の確保」を目指し、様々な施策を推進している。 しかしながら、飯綱町の人口は平成7年をピークに減少しており、令和2年度国勢調査に基づく人口は10,296人で、平成27年の国勢調査の人口11,063人と比較すると、767人(7.0%)の減となっており、早いペースで人口が減少している。婚姻件数や出生数も減少傾向にあり、少子化対策は重要な施策の一つである。			
	(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け)			
	<当年度の少子化対策の全体像> ※全事業共通 第2次飯綱町総合計画の後期基本計画(2023-2026)においては、重点的に挑戦する分野である～飯綱町らしいまちづくりにもつめて～のテーマの中で、2つの重点課題がある。まず、一つ目は「日本一のりんごの町へ」である。2つ目は「日本一女性が住みたくなる町へ」と位置づけている。 その第1章第5分野(安心・健康・福祉)での、基本方針で「共に支え合い誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり」となっている。政策1では「切れ目のない子育て・子育て支援」の前段階として、若い女性を含む若者夫婦が安心して結婚できる環境を作ることが最優先であり、新生活に向けた経済的不安を解消することで、ゆくゆくは妊娠・出産・子育てにつなげていきたい。よって、若者に対する結婚支援策が重要と考えられる。また、出産に関しても令和4年は47人、令和5年は43人と減少傾向となっている。 今後も人口減が続くと見込まれる中、地域を維持(人口を確保)していくためには、結婚相談事業や交流イベントなど出会いの場づくり等の充実を図るほか、本事業を上記の基本目標「日本一女性が住みたくなる町」(施策:移住定住の促進及び若者の結婚支援)に位置づけ、結婚を控えた若者や子育て世帯「飯綱町に住みたい、飯綱町に住み続けたい」と思えるよう、経済的支援を一層充実させていく必要がある。			
	<本個別事業の位置付け> 町内在住の20歳以上50歳以下の住民に対して行った、「結婚・出産・子育てに関する意識・希望の調査」(調査年度:2015年度)において、男女とも9割前後の方が結婚を希望している。しかし、独身者の半数以上が結婚について「適当な相手にまだめぐり会わないから」を理由に挙げており、出会いの確率をわずかも高める取り組みとして、出会いの場や機会の創出につながるような取組が施策として考えられる。そうした中で、「結婚相談所などの結婚サービスを通じて」といった出会い方は望まないという方が男性で4割、女性では5割以上いる一方、「趣味のサークル活動や習い事で」といった出会い方は男女ともに抵抗が少ないという意向等は踏まえる必要がある。本個別事業については、上記取組の多様な出会いの機会を創出する施策の一つとして位置付ける。			
	(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ))			
	令和5年度は近隣の市町村と独身交流会を実施。婚活イベントを前面にださないことで、女性の参加するハードルが下がり参加しやすいようだった。令和6年度も近隣の市町村と協力して、女性の参加しやすい交流会やイベントを実施し、きっかけを作り、交流会等に参加した方に、結婚相談所や結婚マッチングシステムの広報をして、更なる出会いの機会づくりの支援を行う。 また、近隣の市町村でお互いの婚活イベントなど広報誌等を通じ参加を呼びかける。			

番号	項目	内容	ステップ アップ	KPI 設定	
個別事業の内容	1	婚活イベントの開催 気軽に参加でき参加者間の交流を促進する体験型婚活イベントの開催。 【参加対象】25～45代の独身者 【参集人数】男女 各16名×3回 登録者のときめきクラブ(女性対象者)と、もて塾(男性対象者)の交流会をととして、自然とお互いを知る取組。 【参加対象】25～45代の結婚相談所の登録者 【参集人数】男女 各3名×10回 ＜他の取組との有機的連携＞ ・社会福祉協議会で実施している結婚相談や、ながの結婚支援ネットワークで運用している「ながの結婚マッチングシステム」の情報を提供し、参加者のさらなる出会いの機会の拡大を図る。 ・町結婚相談員による事前・事後のフォローアップを行い、気軽に婚活について相談できる体制を整備する。 ＜周知広報について＞ 県が実施する出会いの機会に関する取組について、参加者へ周知・広報(チラシの配布や内容説明)を行い、活動の後押しを行う。具体的には以下を実施。 ・社会福祉協議会広報誌「ふれあいぼけっと」12月号に掲載、全戸配布 ・フリーペーパー(※)に掲載、蔦屋書店等で周知 ・ながの出会い応援ポータルサイト「ハピネスナビ信州」に掲載 ・近隣の市町村で相互の婚活イベントなど広報誌等を通じ参加を呼びかける。 (※)フリーペーパーについて ・ターゲット:25～45歳の独身男女 ・媒体選定理由:多くの人に出会いの機会を周知するため ・広告スペース、掲載回数:B5の1/4サイズ、年2回掲載	○	○	
	※(注)3【次年度以降に向けた事業の方向性】 結婚相談所の登録者の声を踏まえて業務の効率化を進めるとともに、結婚の希望をかなえる取組を継続的の実施できる体制づくりを進める。 【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
	県のマッチングシステムをきっかけとする婚姻件数		件	3 (令和6年度)	2 (令和5年度)
	県マッチングシステムの登録者数		人	30 (令和6年度)	22 (令和5年度)
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.43 (平成28年)	
	婚姻件数		件	48 (平成28年)	
	婚姻率			3.8 (平成28年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	事業内容 番号	KPI項目	単位	目標値	現状値
		項目			
		(アウトプット)			
	1	・参加目標人数	人	156	119 (令和4年度)
	2	・参加人数の達成率	人	100	93 (令和4年度)
		(アウトカム)			
	1	・カップル成立数	組	7	6 (令和4年度)
	2	・参加者の満足度	%	80	50 (令和4年度)
	3	・参加者のうち、相談員の支援を受けた者の割合	%	50	—
	4	・相談員の支援を受けた者の満足度	%	70	—
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7		県のポータルサイトでの広報を行う。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8		民間事業者の会場において、婚活パーティーを開催し、参加者の募集を図る。			